

# 総合的な学習の時間～一年間の活動のまとめ～

3年生は、「玄海町のうまいものをさがそう」「仮屋の町のかんきょうについて考えよう」という二つの柱を立て、活動しました。

## 玄海町のうまいものさがし

玄海町のうまいものをパンフレットでさがし、見学してきました。また、身近にあるうまいものを作っている所に行って見学しました。

### キンショウメロン農家見学（6月・値賀）

#### 勉強になったこと

- ・メロンは、花がつぼみになって、実になった部分を食べている。
- ・花には、実がつく花と実がつかない花の2しゅるいある。実がなる花は、下のところがふくれている。
- ・葉っぱがぎざぎざしているのは、水分を取るため。
- ・メロンをとる時期をずらすために、なえをうえる時期がずらしてある。
- ・おいしいメロンにするためにメロンを育てる時期が決まっており、しゅうかくが4月～5月である。
- ・温度、水分によってあまさがかわることが分かった。
- ・キンショウメロンのあまさは、スイカよりもあまく、14度以上ある。
- ・育てていてうれしいと思うことは、食べてくれた人が「おいしい」と言ってくれた時だそう。

#### 感想

- ・実さいにメロンをしゅうかくさせてもらえて楽しかった。
- ・広いハウスの中でメロンをさがしに行ったとき、葉っぱがチクチクしてかゆくなったけど、メロンをたくさん見つけることができた。
- ・キンショウメロンを食べられる時期が2ヶ月間だけなのは短いと思った。
- ・農家の方がその場で切って食べさせてくれたメロンは、とてもあまくおいしかった。
- ・メロンは苦手だけど、キンショウメロンは食べられた。

#### これからがんばりたいこと

- ・メロンのたねはどうやってとるのかについて知りたい。
- ・メロンには、キンショウメロンのほかに何しゅるいあるのか、あまさはどうかなどについて調べたい。
- ・玄海町でキンショウメロンを作っている農家は、4けんしかないそうなので、もっともっとキンショウメロンを作っている人をさがして、どんな工夫がされているかを教えたい。
- ・キンショウメロンのう家の見学に行って、メロンを育ててみたいと思った。キンショウメロンを育てる時、メロンを大きく育てたい。



右の方がふっくらしているから実がつく花だよ。

サッカーボールくらいの大きさで、1kgの重さだったよ。



# みかん農家見学（10月・大園）

## 勉強になったこと

- ・みかん農家の人がかろうしていることは、いのししが畑に来てあらずということである。畑の周りには、いのししが畑に近づかないように電流が通る線を通してあった。
- ・あまいみかんの見分け方が、小さいこと、ツルツルしていることであることがわかった。
- ・みかんをきずつけないように、二度切りをしてとることが分かった。
- ・ねだんが高いみかんにするために、色のむらをなくす工夫がしてあった。地面に白いシートをかぶせ、光の反しやを利用して下からも光が当たるようにされていた。
- ・あまいみかんにするために、水をやりすぎないようにしてあることが分かった。
- ・1本の木にみかんは300~400このみかんができる。
- ・みかんができるまでに2年、商ひんとして売りに出すみかんになるまでに4年、20年以上なる木もたくさんある。
- ・「上場のゆめ」というブランドのみかんは、1本の木に1こできるかできないかの量しかとれない。
- ・みかんを育てていてうれしいと思ったときは、高いねだんで買ってもらえたときだそう。

## 感想

- ・仮屋にみかんを育てているところがあることを初めて知った。
- ・みかんを実際にさわることができて楽しかった。
- ・みかんをせんていばさみで二度切りをしてしゅうかくすることができて楽しかった。
- ・食べくらべをしたら、言われたとおりあまかった。

## これからがんばりたいこと

- ・あまいみかんを見分けて食べたい。
- ・みかんを育てて、あまくておいしいみかんをとりたい。みかんを育てる時は、水、土、光をよく見ながら世話をしたい。
- ・みかんの見分け方についてもっとくわしく知っていききたい。
- ・みかんのことをいっぱい調べていききたい。



みかんをきずつけないように二回に分けてゆっくり切ったよ。

カラスよけのために、かかしがあったよ。



# 給食センター見学（2月・値賀）

## 勉強になったこと

- ・ざいりょうをまぜるためのしゃもじが、ぼくの身長（130cm）と同じくらい（120cm）だった。
- ・700人分の給食を男2人、女8人で作っている。
- ・配達の時時間も合わせて調理の時間が4時間である。
- ・700人分の給食を作るのにフライパンではなく、250Lの水が入るかまで調理をしている。
- ・調理をする時、ばいきんがほかのざいりょうにつかないようにエプロンをかえて作業をしていて、えいせい面にとても気をつけている。
- ・こんだては、調理員さんと話し合ってえいようしさんが考えている。
- ・野菜をあらう場所と調理をする場所、しょっきをあらう場所はそれぞれちがう場所にあった。
- ・いそがしいこんだては、ケーキやハンバーグなど手作りでするもの。
- ・野菜はきかいできることが多い。
- ・ごはんはきかいでたいている。

## 感想

- ・調理員の人々がぼくたちに気づいて手をふってくれてうれしかった。
- ・すいものつみれを手でつみ入れながらかまに入れているところを見学できてうれしかった。
- ・調理したものをまぜるしゃもじの長さが120cmもあると聞いてびっくりした。
- ・120センチメートルもある大きなしゃもじを持たせてもらえてうれしかった。

## これからがんばりたいこと

- ・給食をのこさないで食べたい。
- ・調理員さんたちが給食をいっしょうけんめいに作っていたので、給食をのこさず食べる。
- ・給食センターの下ごしらえをする場所や調理をする場所、かたづけをする場所がどこにあって、調理員さんがどのような工夫をしながらはたらいているかについてもっとくわしく調べていきたい。
- ・給食センターの調理をしている場所の広さを調べて、どこでどんな調理をしているか、その場所でどんな工夫をしているのかについて知りたい。
- ・スライサーで野菜を切っている所やオープンで肉や魚を焼いている様子を見学したい。今回動いているところを見ることができなかつたので、今度は実さいに使っているところを見たい。

## 水産振興センター見学（2月・鎮西町）

### 勉強になったこと

- ・りょうさんが魚をとりすぎて、昔にくらべて海にいる魚が減っている。
- ・日本にいるウニは主に3しゅるいある。
- ・オコゼは、どくを持っているので、トゲにはぜったいにさわってはいけない。
- ・ナマコやウニにはたくさんのしゅるいがある。

### 感想

- ・あわびやウニの赤ちゃんをさわって楽しかった。
- ・赤ウニやむらさきウニ、パフンウニの赤ちゃんをさわって少しいたいと思ったけど、大きいウニのようにチクチクしなかったのでびっくりした。

### これからがんばりたいこと

- ・魚が減るので、とらないほうが良いと思った。
- ・日本にいないウニは何しゅるいあるのか、そのウニはどこにいるのか、なぜ日本にいないのかについて調べていきたい。
- ・たくさんいる魚のしゅるいについて調べておぼえていきたい。
- ・小魚から大きい魚に育てて、海に帰してあげたい。

## 展望台・サザエ・いか（2月・波戸岬）

### 勉強になったこと

- ・この時期には、ふぐがたくさん泳いでいる。
- ・きせつによって、泳いでいる魚のしゅるいがちがう。
- ・サザエを焼く時、サザエ1つ1つていねいに回しながらやっていた。

### 感想

- ・サザエやイカがおいしかった。
- ・みんなでサザエとイカを食べることができて楽しかった。
- ・さざえの苦い部分は苦手だったけど、みんなと食べるとおいしいと感じた。
- ・サザエをやく時は、回しながらやこうと思った。

### これからがんばりたいこと

- ・サザエやイカが玄海町のおいしいものであることがわかったので、これからもいっぱい食べたい。
- ・お客さんによるこんでもらうためにサザエをおいしくやいている様子を見て、わたしもお客さんによるこんでもらえるようにサザエを1つ1つていねいにやいてあげたい。
- ・今度は家族みんなでサザエやイカを食べに行きたい。

# 仮屋湾遊漁センター（3月・牟形）

## 勉強になったこと

- ・足音が海に伝わって魚が逃げってしまうので、つりをする時は走ったらいけない。
- ・えさをつけるとき、魚に見つからないようにはりをかくしながらつける。
- ・えさをまいて、魚をひきつけながらつりをする。
- ・寒い時期は魚が上に上がってこないで、あまりつれない。
- ・しおがみちているときは、しおの流れが弱く、魚が動かないのであまりつれない。
- ・つろうとしていることが魚に見つかったら、魚がけいかいしてよってこない。

## 感想

- ・みんなとなかよくつりができて楽しかった。
- ・魚をつることはできなかったけど、魚つりができて楽しかった。
- ・もらった小だいを塩やきにして食べたら、身がふわふわしていておいしかった。
- ・魚をつることはできなかったけど、はりにひっかかったとき、さおをひくタイミングがむずかしかった。

## これからがんばりたいこと

- ・次に魚つりに行ったら、上手にえさをつけてたくさん魚をつりたい。
- ・あたたかくなってから、今度は家族でつりに行きたい。
- ・魚のしゅるいについてもっとくわしく知りたい。

# 仮屋のかんきょうについて考えよう

仮屋に住んでいて、道路や海にごみがあることが気になっていました。そこで、みんなでごみ拾いをし、場所ごとにごみの重さを量りました。

表1. 場所ごとのごみの重さ

場 所	ごみのしゅるい	ごみの重さ
西 方 面	もえるごみ	1.6 kg (1600g)
	か ん	0.6 kg (600g)
	た ば こ	およそ400本
三 島 方 面	もえるごみ	2.3 kg (2300g)
	か ん	3.5 kg (3500g)
石 田 方 面	もえるごみ	1.4 kg (1400g)
	か ん	1.0 kg (1000g)
大 藪 方 面	もえるごみ	1.8 kg (1800g)
	か ん	0.9 kg (900g)

## ごみ拾い(3学期)

勉強になったこと

- ・西方面に落ちていたタバコがおよそ400本あった。
- ・みんながいっぱいゴミをすてている。とくに、西方面にはたばこがたくさんすててあった。
- ・民家の近くに空きかんがたくさんすててあった。
- ・海の近くに、自転車やタイヤ、発泡スチロール、茶わんなどたくさんすててあった。
- ・山おくや急なしゃ面など、行くことができないような場所にごみがすててあった。
- ・みぞにごみがすててあった。
- ・ごみを拾った1週間後にはべつのごみがすててあった。

感想

- ・西方面に落ちていたタバコがおよそ400本あったことが一番気になった。
- ・みんなでゴミを拾って仮屋の町がきれいになって気持ちがよくなった。
- ・西方面におよそ400本のたばこがすててあって、大人たちがすてていることにびっくりした。

これからがんばりたいこと

- ・仮屋にいる人たちがゴミをすてないように気をつけたい。そのために、ポスターをはってみんなにお知らせしたい。
- ・みんながゴミをすてないようにポスターをはりたい。みんなによびかけて、すてている人がいたら注意をしていきたい。
- ・みんなに「すてないで」とよびかけをして、きょうりよくして仮屋の町をきれいな町にしていきたい。
- ・